

技術概要書（様式）

※別紙2

出展技術の分類	安全・防災 インフラDX 維持管理 環境 コスト 品質 （該当分類に○を付記）
技術名称	3次元空間情報を最適化するソリューション（TerraExplorer） 担当部署 九州事業部 事業推進室
NETIS登録番号	— 担当者 友廣 篤志
社名等	株式会社パスコ 電話番号 092-451-3522
技術の概要	<p>1. 技術開発の背景及び契機</p> <p>当社は2022年5月に本ソフトウェア（TerraExplorer）を開発したSkyline社（本社：米国）と代理店契約を締結し、日本語版の開発のほか本ソフトウェアの普及に努めています。</p> <p>国土交通省国土技術政策総合研究所が実施している共同研究に、2023年4月より「TerraExplorer」を用いて参加しています。本研究では、官民が連携してインフラ分野のDXに関する実証研究システム「DXセンター」を活用した実証実験を行っています。</p> <p>具体的には3次元データの保管や閲覧、作成、編集、受け渡し等を効率的かつ持続的に行えるかを検証し、ビジネスモデルの検討を進めています。</p> <p>2. 技術の内容</p> <p>「TerraExplorer」は、プロフェッショナルな機能を備えた有償製品と、通常に必要な機能を備えた無償版を提供しています。</p> <p>画像・標高・点群・3次元モデル・CAD・BIM/CIMとあらゆるデータを読み込み重畳表示や簡易な計測、差分解析などを行うことが可能です。</p> <p>数十～数千km²にわたる広範囲の点群データなど大容量の3次元データもお手持ちのPCで、軽快ストレスなく操作、閲覧が可能です。</p> <p>3. 技術の効果</p> <p>BIM/CIM、防災・減災、道路、河川、砂防、都市計画、森林、港湾、海洋開発など、様々な分野において当社が取得する3次元空間情報と3Dビジュアライゼーション技術で、お客様の課題解決を支援致します。</p> <p>「TerraExplorer」は、測量成果を可視化・解析・共有するソフトウェアとして最も優れたソフトウェアの一つです。</p> <p>関係者間の合意形成や迅速な意思決定に効果的であり、仮想空間でのシミュレーションや解析も行え、多様な業種でご利用いただけます。</p> <p>4. 技術の適用範囲</p> <p>3次元データの構築や処理・分析、保存・共有が可能であり、国や地方自治体の行政業務や民間分野などで活用いただけます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・航空・UAV写真測量→3次元データ作成 ・防災・減災→地形情報の表示や状況把握 ・道路・河川・砂防→広域を対象とした3次元管内図 ・社会インフラ管理→構造物情報の表示や状況把握 ・港湾・海洋開発→海底地形情報の表示や状況把握 ・まちづくり・都市計画→都市モデル作成、都市計画や社会インフラ管理などのデジタルツイン等 <p>5. 活用実績</p> <p>3次元河川管内図作成業務における導入実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北海道開発局管内：4河川 ・中部地整管内：4河川 ・東北地整管内：5河川 ・近畿地整管内：9河川 ・関東地整管内：7河川 ・中国地整管内：10河川 ・北陸地整管内：8河川 <p>九州管内における導入実績</p> <ul style="list-style-type: none"> ・河川部門、森林部門、税務部門等に40ライセンス以上。

6. 写真・図・表

パスコが実現するBIM/CIMとGISのシームレスな連携

主な活用分野



河川 三次元河川管内図

対象範囲：数十km²～数百km²

- 航空レーザー成果、航空写真、河川管理情報を一元管理



防災 災害時緊急撮影データの閲覧・解析

対象範囲：数百km²～数千km²

- 衛星画像、航空写真、浸水範囲、差分などの解析、結果の表示



砂防 施工計画、施設管理

対象範囲：数千km²

- 設計データと3次元地形の一元表示
- リアリティの高い3次元地形データを利用した施設調査・管理



BIM/CIM 施工計画・管理・出来形確認

対象範囲：数km²～数十km²

- 現場の地形情報にBIM/CIMモデルを配置、施工計画の確認



道路 防災点検、管理

対象範囲：数千kmの道路沿い

- 道路周辺の点群表現
- 道路防災点検の地形情報表示システムとして使用



都市計画 シミュレーション

対象範囲：数百km²～数千km²

- 航空レーザー成果、航空写真、3次元都市モデルの配置、各種シミュレーションによる影響検討や評価